CESS□ル

300262

CESS□胞株は、白血病患者由来のBリンパ芽球系□胞株である。この□胞株はサイトカイン刺激に強く反応するため、免疫グロブリン産生、特に IgG分泌の研究によく用いられる。CESS□胞はEBVで形質転換され、CD19やCD38のような成熟B□胞に特徴的な表面マーカーを示す。 CESS□胞はsIgG1クラスの免疫グロブリンを発現し、 B□胞刺激因子2（BSF-2）としても知られるインターロイキン -6（IL-6）のようなサイトカインによって制御される免疫応答を含む、 B□胞の分化と機能を研究するためのモデルとして役立っている。IL-6はCESS□胞の免疫グロブリン産生を刺激する上で重要な役割を果たしており、免疫学的研究においてB□胞応答を研究するための貴重なモデルとなっている。
さらに、CESS□胞は□胞シグナル伝達とアポトーシスに焦点を当てた研究にも役立っている。特筆すべきことに、これらの□胞は、高親和性NGFレセプターと低親和性NGFレセプターの両方を発現し、自己分泌シグナル伝達機構を介して神経成長因子（ NGF）を産生し、それに応答することが示されている。抗体や特異的阻害剤で NGFシグナルを遮断すると、CESS□胞はアポトーシスを誘導し、Bcl-2のリン酸化とp38 MAPK経路の活性化を特徴とする。このことから、 CESS□胞は、B□胞の生存とアポトーシスの分子メカニズム、特にNGFシグナル伝達とそのBcl-2ファミリータンパク質の制御を理解する上で重要なモデルとなる。

概要

□明

CESS□胞株は、白血病患者由来のBリンパ芽球系□胞株である。この□胞株はサイトカイン刺激に強く反応するため、免疫グロブリン産生、特に IgG分泌の研究によく用いられる。CESS□胞はEBVで形質転換され、CD19やCD38のような成熟B□胞に特徴的な表面マーカーを示す。 CESS□胞はsIgG1クラスの免疫グロブリンを発現し、 B□胞刺激因子2（BSF-2）としても知られるインターロイキン -6（IL-6）のようなサイトカインによって制御される免疫応答を含む、 B□胞の分化と機能を研究するためのモデルとして役立っている。IL-6はCESS□胞の免疫グロブリン産生を刺激する上で重要な役割を果たしており、免疫学的研究においてB□胞応答を研究するための貴重なモデルとなっている。
さらに、CESS□胞は□胞シグナル伝達とアポトーシスに焦点を当てた研究にも役立っている。特筆すべきことに、これらの□胞は、高親和性NGFレセプターと低親和性NGFレセプターの両方を発現し、自己分泌シグナル伝達機構を介して神経成長因子（ NGF）を産生し、それに応答することが示されている。抗体や特異的阻害剤で NGFシグナルを遮断すると、CESS□胞はアポトーシスを誘導し、Bcl-2のリン酸化とp38 MAPK経路の活性化を特徴とする。このことから、 CESS□胞は、B□胞の生存とアポトーシスの分子メカニズム、特にNGFシグナル伝達とそのBcl-2ファミリータンパク質の制御を理解する上で重要なモデルとなる。

ティッシュ	末梢血
病気	急性骨髄性白血病

用途

ヒトTハイブリドーマ□胞株の樹立

同義語

- Cess

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	リンパ芽球

識別子

引用

CESS（サイシオン カタログ番号 300262）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0209

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

ウイルス

EBVによる形質転換

製品

TRF（T□胞置換因子）による誘導後のIL-2

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	10^4□胞/cm^2が推奨されます
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	少なくとも48時間、□胞を凍結から回復させる。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、□胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

民族	ヨーロピアン

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB